

続・QDAT サイト管理日誌

～ 東京のりもの学会受付 cgi について ～

重野 誉敬

私達 QDAT は公共交通・旅行系 Only 自主制作誌・自主製作グッズ合同展示即売会「東京のりもの学会」を運営するという事を最大の目的としております。従いまして QDAT の WWW サイトには東京のりもの学会の広報のためのページが置かれており、実はサークル QDAT のサイトよりも東京のりもの学会のサイトの方がアクセスが多いという状態になっています。

東京のりもの学会では当初から WWW による広報をしておりましたが、今年 5 月に開催された第 6 回よりオンライン上での申込受付を開始しました。

本稿では QDAT ページ管理担当である私がこのオンライン申込受付に関する事を中心に例によって気ままに書いていきたいと思えます。暫しの間お付き合い頂ければと思います。

1. 概要

オンライン申込受付は、出展参加申込書の記入・郵送に代わり、オンライン上で申込を行うものです。参加費は紙による申込と同様の方法で払い込んで頂きます。また、参加費等も書面による申込と同じです。

フォームからサーバへデータが正常に送信されましたら、送信完了のメールが自動送信されます。

参加費の入金を確認され、フォームからされた内容が正常であると確認され次第、参加申込受付通知のメールを送信致します。これをもって受付完了となります。

(以上オンライン申込受付説明ページ

<http://www.qdat.jp/tipt/2003/online.html>よりコピペ)

という説明のとおりです(手抜き)。参加費

図1 入力フォーム

は結局郵便局へ払込に行かなければなりませんし、オンライン申込による参加費の割引などありませんので、結局のところ申し込まれるサークルさんにとっては申込書郵送料 80 円を浮かせられるというメリットしかありません(笑)。

などと言ってしまっただけは身もフタも無いのですが、実際のところとしては申し込まれる方としては狭い申込書に住所氏名その他諸々を記入する必要がなくなるというメリットがあるのではないのでしょうか(コミケットの申込書では同じ内容を数箇所に正確に書かなければなりませんので非常に面倒ですよね)。私自身は字が汚いので、手で文字を書くよりもキーボードから入力の方が気楽になってしまっています。そして申込受付担当としては申込書の内容を入力する必要が無くなったというメリットがあったようです。



図2 確認メッセージ



図3 エラー

2. 誌上申込?

などと能書きを長々と書いてきましたが、実際に操作してみないとどんなモノなのかは解り難いでしょうという事で誌上申込?をしてみましょう。

申込にあたっては事前に当日パンフレットに掲載するためのサークルカットの画像データを用意しておく必要があります。

図1が入力フォームです。基本的にはイベントなどで配布した紙の申込書の書式をそのままhtmlのフォームに起こしただけです。

このフォームにサークル名、住所、氏名などの必要事項を入力し下の「続ける」ボタンをクリックすると図2のような確認画面が表示されます。URLを入力した場合にはリンクが張られます。また、ごく簡単なものではありますがいちおうエラーチェックの機能があり、もし送信された内容に明らかなエラーがあると図3のようにエラーの内容が表示されます。

図2の状態からサークルカット画像データの送信を行います。このように必要事項の入力 カット送信と二段式になっているのは、



図4 申込完了

もしフォーム入力内容を修正する時にデータサイズの大きいサークルカットのデータを再送信せずに済むように配慮した、というのがタテマエではありますが、実際のところは単にcgi作者の趣味です。

カットが送信されると図4のようなメッセージが表示され、同時に

Subject: 「東京のりもの学会」参加申込確認通知 QDAT

こちらは東京のりもの学会・QDATです。

貴サークル(QDAT)の情報を次の通り登録いたしました。後日お送りする「参加申込受付通知」メールをもって受付完了となります。

ご協力ありがとうございました。(2003/03/28 03:00:00)

サークル名: QDAT(きゅーだっと)

申込責任者氏名: 重野 誉敬(しげの たかひろ)

(以下申込内容が続く)

のようなメールが記入したメールアドレス宛に自動送信され、取り敢えず申込は完了となります。

申込内容及びカットの内容が確認され、不備が無ければ後日受付事務担当から受付通知のメールが(こちらは手動で)送信され、これをもってめでたく受付完了となります。おつかれさまでした。(あとは当日に向けての準備を頑張ってくださいね。)

3. 内部処理について

この受付 cgi はページ管理担当が自作した物であり、言語は例によって Perl を使っています。

作成にあたっては東京のりもの学会申込書のほか、幾つかの同人誌即売会のオンライン受付フォームなども参考にしました。

送信された内容のうちフォームに入力された内容はフォームに記入したアドレスにメールが自動送信されるほか、東京のりもの学会申込受付担当にタブ区切りテキストとして送信されます。申込受付担当はこれを Excel にコピペしていた、筈です。また、カットのデータはサーバに保管されるようになっており、そのような意味ではこの部分はアップローダの一種になっているとも言えます。パンフ編集担当はこれらのデータをダウンロードしてDTPソフトに貼り込んでいた、ハズです。

4. 利用状況

東京のりもの学会第6回には合計94サークルの参加がありましたが、うち38ものサークルの方々がオンラインでの申込を利用されました。私の個人的にしていーかげんな当初推測では10サークル程度だろーと勝手に予想しておりましたので、予想外にご利用頂き個人的には喜んでおります(自画自賛)。アンケートの結果でも概ね評判は良かったようであり、また、申込受付担当及びパンフ編集担当からも作業が(多少は)ラクになったという報告を聞いております。

この他のアンケート結果につきましては東京のりもの学会第6回報告書(本日展示しておりますほか、東京のりもの学会サイト <http://www.qdat.jp/tpit/>でも公開しております)もご参照下さい。

おわりに

今回は取り敢えずそれなりには好評であったうえ、大きなトラブルも無かったという事で一安心しております。って、実は改造中にアクセスがあって冷や汗をかいた事もあったりしたのですが。

来年4月29日に開催されることが決定した第7回・2004年会に向けてもオンライン申込受付を行う予定です。アンケートの結果などを参考に多少の機能追加を行う予定ですので、ご意見、ご感想などを頂ければ幸いです。